

## 第3章

### 特別支援学校における

### ICT活用実践事例

## 事例 107

育成したい  
ICT活用スキル

【ウェブ会議システム】

### 特別支援学校 中学部3年 タブレットを使った交流 【教科等】学級活動 【主題】県外の友達と交流しよう


#### 本時の目標

・同じ障がいのある生徒との交流を通して、コミュニケーションスキルを磨く。

#### ICTを活用するねらい

・ウェブ会議システムを使うことで、遠くにいる人とコミュニケーションする楽しさを味わう。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・ミーティングIDやパスワードを正しく入力する。</li> <li>・接続を確認して、ビデオやオーディオを調整する。</li> </ul>	Zoom	 <p>[オンライン交流の様子]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自己紹介をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・リコーダー演奏披露</li> <li>・ピアノ演奏を聴く</li> </ul> </li> <li>2 質疑応答をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の自慢</li> <li>・郷土の自慢</li> <li>・進路について</li> </ul> </li> </ol>	Zoom	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想を発表する。</li> </ul>	Zoom	

#### 児童生徒の変容等

- ・アプリを活用し、遠くにいる人と交流する楽しさを味わった。受験勉強に関する会話を通して、学習に対する意欲が増した。
- ・人見知りの性格である生徒が、画面を通すと、積極的に質問できていた。

#### 活用の留意点

- ・特技などを発表する場合は、あらかじめタブレットの画角を調整しておく。
- ・視覚障がい者同士のため、会話の流れをスムーズにするために、声に出して相槌を打つなどの配慮が必要であることを生徒へ事前に指導しておく。

事例 108

育成したい  
ICT活用スキル

【マルチメディア】【アプリ活用】

特別支援学校 高等部1~3年 動画再生アプリによる球速測定  
【教科・科目等】保健体育・体育 【単元】サウンドテーブルテニス


本時の目標

・より速い打球が打てるスイングフォームやラケットの角度について考える。

ICTを活用するねらい

・動画再生アプリを活用することで、自分自身の動きを即時確認しながら、スイングフォームの改善を図ることができる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	・サウンドテーブルテニスの動作を確認し、自分と他者の動きを比べてより良いフォームを考える。		 <p>[動画を撮影し、フォームの確認や球速を測定]</p>
展開	1 2人組で練習する。 ・ラリーを行う中で、動きを確認しながら球速を測定する。 2 フォームの確認をする。 ・測定した球速と、動きの確認をしながら、より速い打球が打てるように繰り返し行う。	タブレットのカメラ機能 ウゴトル	
まとめ	・それぞれの球速を確認して、活動を振り返る。	ウゴトル	

児童生徒の変容等

- ・自分の球速が数値化されることで、より速い打球を打とうと意欲的に取り組んだ。
- ・動画により自分と他者のフォームを比較することで、自分の良い点と改善が必要な点のはっきりし、技術向上に対する意欲が向上した。

活用の留意点

- ・球速を示したり、動画で確認させたりして、生徒自身が考える機会をもつようにする。
- ・過去の動画と比較しやすいように、保存データをグループ分けしておく。
- ・全盲の生徒に「ラケットのふり幅を小さくする」と説明するなど、見え方に応じて言葉掛けで対応する。

事例 109

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】  
【教育用クラウドサービスの活用】

特別支援学校 小学部 1年 タブレットを用いた計算練習  
【教科等】算数 【単元】ひきざん


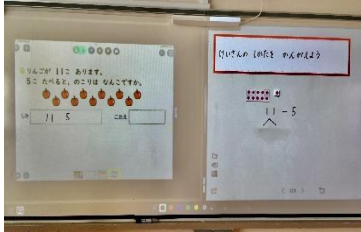

本時の目標

・繰り下がりのある引き算の立式と計算練習をする。

ICTを活用するねらい

・タブレットを使い、ゲーム感覚で問題を数多くこなすことで、計算スキルを身に付ける。  
・タブレットを使った家庭学習に取り組めるようにする。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「10はいくつといくつ」の復習をする。</li> <li>・本時の学習の目当てをもつ。</li> </ul>		 <p>[前時の復習] 隣り合う10の補数を見付けて囲む。</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 教科書の文章問題を見て、立式し、計算する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで計算し、ロイロノートで提出する。</li> </ul> </li> <li>2 計算練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで、繰り下がりのある引き算の計算練習をする。</li> </ul> </li> </ol>	ロイロノート Microsoft Teams 電子黒板	 <p>[電子黒板に課題を投影]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習で頑張ったことを発表する。</li> </ul>	ロイロノート 電子黒板	 <p>[計算練習]</p>

児童生徒の変容等

- ・計算カードに苦手意識のある児童が、1問正解するごとに宝石をもらえるウェブサイトを活用することで、達成感を得ながら意欲的に計算に取り組んだ。
- ・タブレットの操作に慣れ、自分で課題を開き、取り組めるようになった。
- ・書き直しが容易なタブレットを使用することで、失敗を気にせず、自分の考えを積極的に書き込むようになった。

活用の留意点

- ・タブレットの操作だけでなく、児童による電子黒板上の数図ブロックの操作や書き込みなど、児童が自分の考えを説明する機会を作る。
- ・家庭学習でも Microsoft Teams の課題に取り組めるよう、児童の操作スキルの向上を図る。

事例 110

育成したい  
ICT活用スキル

【プレゼンテーション技術】

特別支援学校 小学部5・6年 タブレットを用いた発表

【教科等】総合的な学習の時間 【単元】宇和島市の戦争と人々の暮らしについて調べよう

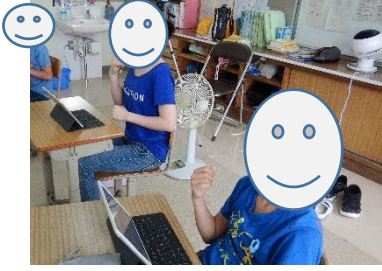
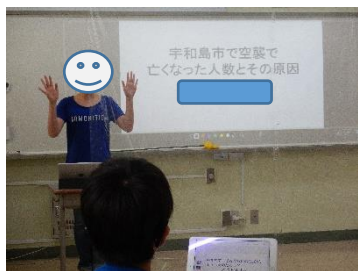
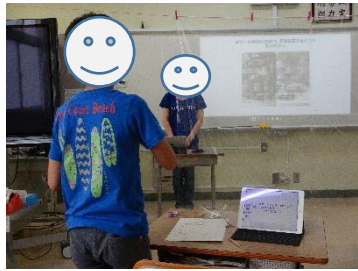
本時の目標

- ・調べたことについて聞き手を意識しながら発表する。
- ・友達の発表を聞いて感想を伝える。

ICTを活用するねらい

- ・タブレットで作成したプレゼンテーション資料を使って発表する良さを感じる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の目標と流れを確認する。</li> <li>・自分の発表資料や発表内容を確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[発表資料や発表内容の確認]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 発表練習を行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の発表資料や発表内容を確認する。</li> </ul> </li> <li>2 調べたことについて発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・まとめた資料を電子黒板に画面ミラーリングを行い、提示する。</li> </ul> </li> <li>3 感想を発表する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発表を聞いて感想を伝えたり質問をしたりする。</li> </ul> </li> </ol>	Google スライド 電子黒板	 <p>[Google スライドを用いた発表]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの発表内容について、発表資料を見ながら振り返りを行う。</li> </ul>	電子黒板 Google スライド	 <p>[感想発表]</p>

児童生徒の変容等

- ・Googleスライドを用いての発表資料の作成、発表を行うことで操作に慣れ、他教科の学習でも活用する姿が見られた。
- ・友達の発表を聞き、プレゼンテーションソフトを用いることで分かりやすく相手に資料を提示することを感じ、積極的に活用しようとする姿が見られた。

活用の留意点

- ・適宜、Googleスライドの操作や、電子黒板への画面ミラーリングの操作の復習を行い、操作方法が定着するようにする。
- ・発表資料の作成段階から、画面ミラーリングを行い、発表資料の実際の見え方を確認しながら発表資料を作成するようにする。



事例 1 1 1

育成したい  
ICT活用スキル

【文字入力】【情報検索】  
【教育用クラウドサービスの活用】

特別支援学校 中学部 2年 タブレットを用いた学習活動  
【教科等】理科 【単元】植物のからだのつくりとはたらき


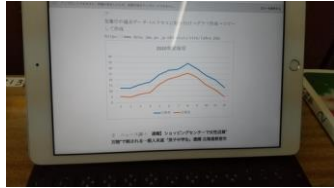

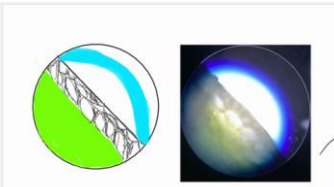
本時の目標

- ・植物細胞の造形イメージをもち、構造を理解する。

ICTを活用するねらい

- ・週に一回のルーティンワークを行うことで、手際よく作業を行う。
- ・タブレットでのペイントで作業時間を短縮し、思考時間を増やす。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーティンワーク(気象等のニュースを調べ、Word等に記録・保存)を行う。</li> <li>・本時の目標を確認する。</li> </ul>	Microsoft Word・Excel Google Chrome 電子黒板	 <p>[ルーティンワークの準備]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 植物細胞の構造を知る上で何をするのかを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書で要点を確認する。</li> <li>・疑問点等をインターネットで調べる。</li> <li>・動画を視聴する。</li> </ul> </li> <li>2 プレパレートで植物細胞を確認し、写真を撮る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットのカメラ機能で細胞を撮影する。</li> <li>・自分で撮影した静止画をJamboardでスケッチする。</li> </ul> </li> </ol>	NHK for school 電子黒板  タブレットのカメラ機能 Google Jamboard	 <p>[月別温度変化のグラフ表示]</p>  <p>[顕微鏡で観察する様子]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで本時の記録をまとめ、感想を入力する。</li> </ul>	Word	 <p>[写真を見てスケッチした画像]</p>

児童生徒の変容等

- ・情報検索した結果を記録したり、グラフを作成したりすることで、ICTスキルが向上した。
- ・疑問が生じると、教員に聞く前に自分でタブレットを活用して検索するようになった。
- ・ファイルサーバー上の過去のデータや友達のデータと比較して、データの分析をするようになった。

活用の留意点

- ・疑問点を情報検索させる場合は、一つのサイトだけでなく二つ以上のサイトを検索し、その情報の信憑性を確認するよう言葉掛けする。
- ・作業効率を意識させながら、タブレット使用の判断を生徒にさせる。
- ・授業で利用する参考資料は、あらかじめTeams、OneDrive等に保存しておく。

事例 1 1 2

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【考えの表現】

特別支援学校 高等部 1 年 タブレットを用いた学習活動  
【教科・科目等】数学・数学 A 【単元】組合せ


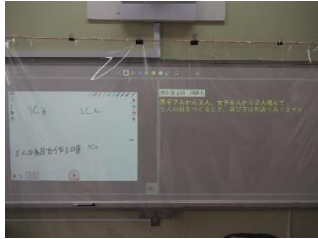

本時の目標

- ・組合せの解き方を使った文章問題を解くことができる。
- ・文章問題から組合せの式を作ることができる。

ICTを活用するねらい

- ・タブレットを活用することで学習意欲が高まる。
- ・画面を共有し、生徒同士の考えを視覚的に確認することができる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子 (写真) ・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小テスト</li> <li>・AC Answer を用いて、配布された問題を解く。</li> <li>・解答を提出後、お互いの答えを見ながら確認を行う。</li> </ul>	AC Answer (学習支援アプリ) 電子黒板	 <p>[タブレットで小テストを受けている様子]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 組合せの文章問題を解く。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PowerPoint で提示し、文章問題を確認する。</li> </ul> </li> <li>2 UD 手書き Pro で書いたものをお互いに確認し、正しい答えを導き出す。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最終的な答えを電子黒板に書く。</li> </ul> </li> </ol>	Microsoft PowerPoint UD 手書き Pro (コミュニケーション支援アプリ) 電子黒板	 <p>[2分割にして表示し画面]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 電子黒板に表示されている内容をノートにまとめる。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[UD 手書き Pro で入力している]</p>

児童生徒の変容等

- ・タブレットを活用することで、積極的に小テストに挑戦するようになった。
- ・アプリの活用に慣れ、自分で工夫を凝らした発表ができるようになりつつある。
- ・音声情報だけでなく視覚的に情報を得ることができ、お互いの意見が伝わりやすくなり、積極的に発言することが多くなってきた。

活用の留意点

- ・UD手書き Pro などの入力情報を共有できるアプリを用いて、視覚的な情報を相手に伝えるよう指導する。
- ・タブレットの画面を電子黒板に映し、全員で確認する。
- ・電子黒板の2分割機能を用いて、教員の提示するスライドと生徒のタブレット画面の両方が見えるよう設定する。

### 事例 1 1 3

育成したい  
ICT活用スキル

【考えの表現】【アプリ活用】

## 特別支援学校 高等部 2年 タブレットを用いた英語学習活動 【教科・科目等】英語表現Ⅰ 【単元】ボランティア掲示の内容理解


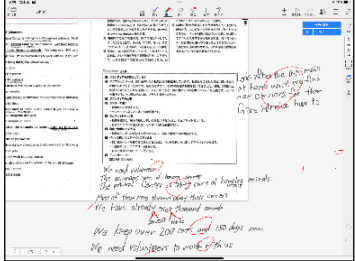
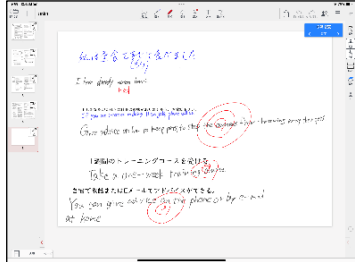
#### 本時の目標

- ・ボランティア募集の具体的内容を理解する。
- ・掲示内の英語表現を使って英作文を行う。

#### ICTを活用するねらい

- ・理解度を即時に教員と共有することで、学習内容を効率的に学ぶ。
- ・自らの学習過程を振り返るツールとして活用する。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア募集内容を黙読する。</li> </ul>	MetaMoji Classroom (学習支援アプリ) 電子黒板	
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本語から英語表現を確認する（和訳先渡し方式）。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語の発音を確認する。</li> <li>・単語やイディオムをインターネット辞書で調べる。</li> <li>・英文の反復練習をする。</li> </ul> </li> <li>2 日本語を英文に書き換える。</li> <li>3 重要表現について応用英作文を行う。</li> </ol>	MetaMoji Classroom 電子黒板	<p>[電子黒板に生徒のタブレット画面を表示]</p>  <p>[日本語を英文に直す]</p>  <p>[応用英作文を行う]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音できなかった単語や正確に再生できなかった英文について、振り返り再確認する。</li> </ul>	MetaMoji Classroom 電子黒板	

#### 児童生徒の変容等

- ・英単語や英語表現について、関連語をインターネットで検索することで理解が深まった。
- ・ICTの活用により、振り返りが容易になったことで、英語表現の定着率が高まった。

#### 活用の留意点

- ・英単語や英語表現について、関連する話題をインターネットで検索することで、推測する力も身に付くよう配慮する。
- ・学習効果が高まるよう、MetaMoji Classroomのジャンプ機能を使い、日本語訳、英文の切り替えを行う。



事例 1 1 4

育成したい  
ICT活用スキル

【ウェブ会議システム】【ICTの理解】

特別支援学校 小学部 2年 オンラインでの体験的な学習

【教科等】国語・生活・図工（単元活動の指導） 【単元】スライムを体験しよう




本時の目標

- ・スライムを見たり触って感触を味わったり、作って遊んだりする。
- ・教師を介して講師とやり取りする。

ICTを活用するねらい

- ・オンラインでつながることにより、外部講師とやり取りしながら体験的な学びを深める。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講師紹介を聞き挨拶をする。</li> <li>・本時の流れを聞く。</li> <li>・スライムを見たり触ったりして、これから作って遊ぶことを確認する。</li> </ul>	Zoom テレビ	 <p>[見やすくするためテレビとパソコンをつないでセッティング]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 スライムを作る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで講師がスライムを作る様子を見て説明を聞く。</li> <li>・教師を介し、講師とやり取りしながら一緒に作る。</li> </ul> </li> <li>2 風船スライムで遊ぶ。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・テレビで講師がスライムで遊ぶ様子を見る。</li> <li>・教師を介して、講師とやり取りしながら、実際にスライムと一緒に遊ぶ。</li> </ul> </li> </ol>	Zoom テレビ	 <p>[リモートでの活動の様子]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の感想を教師と一緒に発表したり、友達の感想を聞いたりする。</li> <li>・講師へお礼の挨拶をする。</li> </ul>	Zoom テレビ	 <p>[教師が児童に近づいて様子を撮影し、講師とやり取りをしている様子]</p>

児童生徒の変容等

- ・画面越しの講師に気付くと、講師が活動する様子をよく見て、教師を介してやり取りした。
- ・風船スライムで遊ぶ場面では、講師が大きく膨らませたスライムを見て、目を見開いたり、声を出して笑ったりする児童がいた。

活用の留意点

- ・導入でテレビ画面に注目するようにし、講師とやり取りしながら進めることを児童に確認しておく。テレビ画面が見やすいような場の設定をする。
- ・教師がタブレットを持って移動して、児童の活動の様子を近くから映して、講師とやり取りできるようにする。

## 事例 1 1 5

育成したい  
ICT活用スキル

【マルチメディア】 【アプリ活用】  
【ICTの理解】

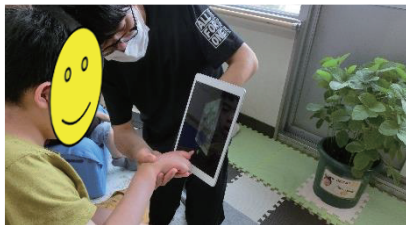

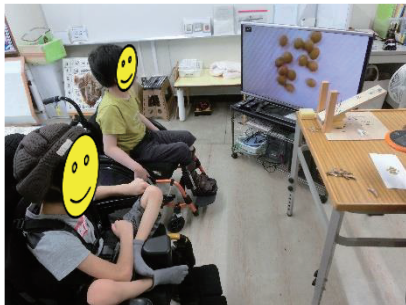
特別支援学校 小学部 5・6年 タブレットやライブビデオカメラを活用した学習支援  
【教科等】生活（単元活動の指導） 【単元】大豆を育てよう

### 本時の目標

- ・大豆の変化や生長の様子について知る。
- ・大豆がさやから飛び出す様子に注目しながら大豆を収穫する。
- ・毎日撮影した大豆の写真を動画にまとめて振り返ることで、大きくなったり色が変わったりする様子に気づきやすくする。
- ・手元を拡大したライブ映像をテレビに映し出すことで、収穫の様子に注目しやすくする。

### ICTを活用するねらい

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れを確認する。</li> <li>・大豆の生長の様子やこれまでの授業の写真を見る。</li> </ul>	テレビ 観察日記アプリ	 <p>[観察日記アプリを使って毎日生長の様子を記録]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 大豆の収穫方法を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・収穫の手順を、スライドを見て確認する。</li> <li>・教師の手本を見る。</li> </ul> </li> <li>2 大豆の収穫をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ずつ、大豆を収穫する。</li> <li>・友達が収穫している様子を、タブレットで撮影する。</li> </ul> </li> </ol>	テレビ ライブビデオカメラ	 <p>[ライブビデオカメラで手元を拡大]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達が撮影した写真や収穫した大豆を見ながら本時の授業を振り返る。</li> </ul>	テレビ ライブビデオカメラ	 <p>[画面を見ながら振り返り]</p>

### 児童生徒の変容等

- ・毎日、観察日記アプリを使用し、大豆の生長の様子をカメラで記録することで、タブレットの撮影方法に慣れてきた。また、撮影した大豆の写真を一つの動画にまとめることで、大豆が生長する様子を真剣に見ていた。
- ・タブレットやデジタルビデオカメラなど、様々な機器を使用することで、ICTに興味を持ち、授業に集中する児童が増えた。

### 活用の留意点

- ・写真だけでなく、動画も撮影しておくことで、授業の様子が振り返りやすくなる。
- ・児童がタブレットで写真を撮影する際には、キーガードやiPadタッチャー等の周辺機器及びアクセシビリティ機能を活用することで、操作しやすくなる。

## 事例 1 1 6

育成したい  
ICT活用スキル

【文字入力】【アプリ活用】

### 特別支援学校 小学部 6年 タブレットを活用した日記指導 【教科等】国語（日常生活の指導） 【単元】日記を書こう



#### 本時の目標

・教師と一緒に活動振り返りながら日記を書き、発表する。

#### ICTを活用するねらい

・継続的にタブレットで日記を書くことで、キーボード入力に親しむ。  
・カレンダー機能付きの日記アプリを活用することで、振り返りが容易にできる。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の内容を確認する。</li> <li>・今週の主な出来事の写真を見る。</li> </ul>	デジタルカメラ	 <p>[下書きを見てキーボード入力する]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日記の内容を決め、下書きする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・日記に書きたい出来事の写真を選ぶ。</li> <li>・教師と話し合いながら下書きを書く。</li> </ul> </li> <li>2 タブレットで日記を書く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントアウトした写真をタブレットに取り込む。</li> <li>・キーボードを使って日記を入力する。</li> </ul> </li> </ol>	デジタルカメラ キーボード えにつき	 <p>[読み上げ機能で確認をする]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み上げ機能を使って入力した内容を確認する。</li> <li>・他の児童の前で発表する。</li> </ul>	えにつき	

#### 児童生徒の変容等

- ・キーボードに触れることが初めてであったが、かな文字入力の配列を覚えて濁点や半濁点などの入力もできるようになった。
- ・拗音や撥音の「Shift」キー入力も覚え、一人で入力できるようになった。

#### 活用の留意点

- ・キーボードが描かれたパズルなどを活用し、遊びの中で文字配列が覚えられるようにする。
- ・児童本人が読み上げ機能を活用して入力内容の確認を行うことで、達成感を感じたり、学習意欲を高めたりできるようにする。



事例 1 1 7

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【ICTの理解】

特別支援学校 中学部 1年 タブレットを用いた学習支援

【教科等】社会（日常生活の指導）【単元】朝の会や終わりの会で司会をしよう




本時の目標

- ・朝の会や終わりの会などで、見通しを持って活動し、頑張ったことなどを分かりやすく友達に伝える。
- ・自分の考えを发表或し相手の反応を確認したりしながら、集団生活の中での役割を果たす。

ICTを活用するねらい

- ・自主的な活動につなげるために、タブレットを活用し、日直時に一人で朝の会や終わりの進行を行えるようにする。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 始まりの時刻を確認する。</li> <li>・ 挨拶</li> </ul>	SoundingBoard (音声・絵カード コミュニケーション ボードアプリ)	 <p>[会の進行順を意識して、正しく操作]</p>
展開	<p>(朝の会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 健康観察をする。</li> <li>2 今日の予定を確認する。</li> <li>3 頑張りたい授業について、発表する。</li> <li>4 今日の給食メニューを確認する。</li> </ol> <p>(終わりの会)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 今日一日の振り返りをする。</li> <li>2 頑張ったことや楽しかった授業について発表する。</li> <li>3 次の日の予定を確認する。</li> </ol>	SoundingBoard	 <p>[表示されるアプリの写真やイラストを確認しながら操作]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師の話を聞く。</li> <li>・ 挨拶</li> </ul>	SoundingBoard	 <p>[友達の前に出て、司会をする様子]</p>

児童生徒の変容等

- ・ 気分によって慣れた人に対しても背を向けたり、集団の活動から離れようとしたりすることがあり、朝の会等でも、顔を背けてしまうことが多かったが、タブレットを使って進行係を担当するようになってからは、友達の前に出て、進んで操作する様子が見られた。
- ・ 授業でタブレットを使用することで、ICTに興味を持ち、授業以外でも操作する機会が増えた。

活用の留意点

- ・ タブレットを操作しない時間が長くなり、画面が自動で切り替わってしまうと生徒が困惑するため、画面が切り替わらないようにアクセシビリティ等の機能を活用する必要がある。



事例 1 1 8

育成したい  
ICT活用スキル

【マルチメディア】

特別支援学校 中学部 1、2 年 タブレットのカメラ機能を用いた表現活動  
【教科等】美術 【単元】大好きな学校



本時の目標

・学校を探検しながら、好きな場所や人、風景等を探す。

ICTを活用するねらい

・タブレットのカメラ機能を使うことにより、絵で表現することが難しい生徒が自分の思いを表現することができることを知る。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本児の目標と流れを確認する。</li> <li>・カメラ機能の使い方を知る。</li> </ul>	大型テレビ タブレットのカメラ機能	
展開	1 教師と一緒に学校内を探検しながら、好きな場所や人、風景等を探す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラ機能を起動する。</li> <li>・好きな場所や人、風景等を探す。</li> <li>・好きな場所や人、風景等を見つけたら、教師に伝えたり、シャッターを押したりする。</li> </ul>	タブレットのカメラ機能 (必要な生徒は) 固定式アームスイッチ iPad Toucher (外部スイッチ)	<p>[写真の撮影]</p> 
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が撮った写真を発表したり、友達が撮った写真を見て感想を伝えたりする。</li> </ul>	大型テレビ ライトニングアダプター HDMI ケーブル	<p>[画面のどこを押しても撮影できるように設定]</p>

児童生徒の変容等

- ・写真を撮っていると楽しくなり、いろいろな場所や人、風景等の写真を次々と撮影した。
- ・腕が動きにくい生徒が、スイッチを押したら写真が撮れることが分かったと、頑張っってスイッチに手を伸ばそうとしていた。

活用の留意点

- ・シャッター一部分をタップすることが難しい生徒には、撮影することが苦にならないように、アクセシビリティ機能で、画面のどこを押しても撮影できるように設定したり、外部スイッチと連動させて撮影できるようにしたりする。

事例 119

育成したい  
ICT活用スキル

【教育用クラウドサービスの活用】  
【アプリ活用】

特別支援学校 中学部 2年 アプリを用いて考えを整理する活動  
【教科等】総合的な学習の時間 【単元】少年の日に向けて

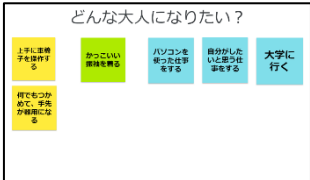
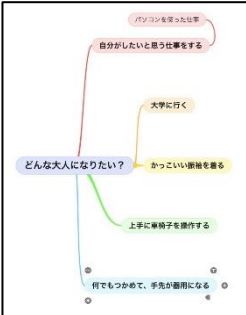

本時の目標

・「どのような大人になりたいか」自分の考えをまとめ「決意のことば」を作成する。

ICTを活用するねらい

・使用するアプリを選択する活動を通して、自分に合うツールについて考える力を身に付ける。  
・アプリを用いて自分の考えを整理する。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>Google Classroom上で共有された動画を事前に視聴し、本単元の目標を確認する(家庭学習)。</li> <li>本時の流れを確認する。</li> </ul>	電子黒板 Google Classroom	 <p>[Jamboard 使用例]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>「どのような大人になりたいか」について考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>考えをまとめる際に使用するアプリを選択する。</li> <li>アプリを使用し、自分の考えを表現したり、整理したりする。</li> </ul> </li> <li>「決意のことば」を考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>アプリを使用し、キーワードとなる言葉に印を付ける。</li> <li>検索サイトや図書を用いて、自分の考えに合う熟語を調べる。</li> </ul> </li> </ol>	【選択するアプリ】 Google Jamboard SimpleMind	 <p>[SimpleMind の使用例]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>「決意のことば」と「どのような大人になりたいか」について発表する。</li> <li>次時の内容を確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[タブレットを使用する様子]</p>

児童生徒の変容等

- Google Classroomを活用し、課題に進んで取り組んだり、自主的に教師に質問したりするようになった。
- JamboardとSimpleMindの各特性を理解し、自分の目的に合うアプリを選択した。また、選択した理由を教師に説明することができた。

活用の留意点

- 身体的な負担を減らすため、生徒の様子をよく観察した上で、機器の配置や文字入力の方法について検討する。
- 生徒が1名の学級であり、意見交流する機会が少ないため、ICTを活用することにより、他学級の生徒と双方向のプレゼンテーションや協働作業を行う活動を設ける必要がある。

事例 120

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】

特別支援学校 高等部2年 タブレットで絵本を読む  
【教科等】国語（単元活動の学習） 【単元】季節の学習（梅雨）


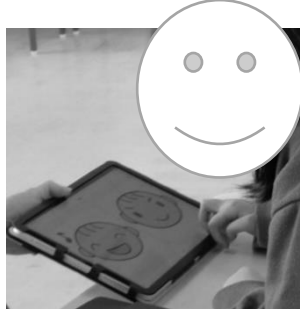
本時の目標

・動画視聴や絵本を読む活動を通して、季節感を味わう。

ICTを活用するねらい

・絵本を自分で読み進める感覚を味わう。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タブレットで号令を掛ける。</li> <li>・本時の内容を確認する。</li> </ul>	DropTalk （絵カードコミュニケーションボードアプリ）	
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 梅雨について学習する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・空の写真や動画を見る。</li> <li>・雨に関する歌や動画を視聴する。</li> </ul> </li> <li>2 タブレットで絵本を読む。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ぼいすぶっく」に取り込んだ絵本「ちいさなくも」の音読を聞く。</li> </ul> </li> </ol>	YouTube ぼいすぶっく（音声録音・再生アプリ）	 <p>[ぼいすぶっくで読む]</p>  <p>[DropTalkで感想を発表]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の感想を発表する。</li> <li>・タブレットで号令を掛ける。</li> </ul>	DropTalk	

児童生徒の変容等

- ・音読を聞くためには、自分が画面に触れる必要があると気付くことができた。
- ・自分が画面に触ると、タブレットから教師の音読する声が聞こえることに興味を持ち、真剣に絵本を読んでいた。

活用の留意点

- ・「ぼいすぶっく」に教師が音声を取り込む際には、生徒が聞き取りやすい声の大きさやテンポに気を付ける。
- ・生徒が興味を持ちやすい絵本を選び、自分でタブレットを操作したいという意欲を持てるようにする。

特別支援学校 高等部 3年 グラフ作成ソフトを用いた課題解決  
【教科・科目等】 数学・数学 I 【単元】 2次関数の最大値・最小値

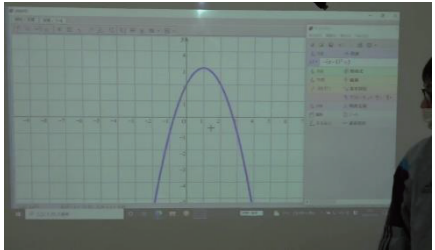

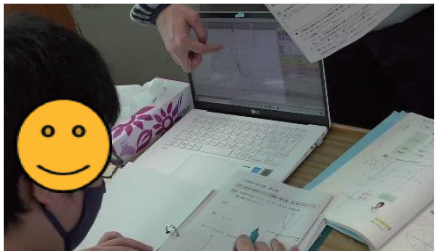
本時の目標

- ・ 2次関数の定義域に制限がある場合の最大値、最小値をグラフを描いて求める。

ICTを活用するねらい

- ・ グラフ作成ソフトを用いてグラフを描くことで、視覚的なイメージがもちやすくなる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の復習と本時の目標を確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[ホワイトボードに課題を提示]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2次関数の最大値、最小値を調べる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ GRAPESを使って2次関数の定義域を変化させたときのグラフを描く。</li> <li>・ 描いた2次関数のグラフの最大値、最小値を求める。</li> </ul> </li> <li>2 1で調べたことを発表する。</li> </ol>	GRAPES (グラフ作成ソフト) 電子黒板	 <p>[個の実態に応じた機器で操作]</p>  <p>[画面を見ながら課題に取り組む]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の内容を振り返る。</li> </ul>	電子黒板	

児童生徒の変容等

- ・ 様々なグラフを表現できるようになったことで視覚的なイメージがしやすくなり、解決の見通しをもてるようになった。
- ・ 肢体不自由の生徒にとって、グラフをプリントに描くよりもタブレット上に描く方が身体的な負担が軽減し、問題に集中して取り組めるようになった。

活用の留意点

- ・ タブレットや電子黒板は表示したものをすぐに消すことができるため、ワークシートを準備したり、考えをまとめる時間を十分に確保したりする。
- ・ ソフトの操作方法を事前に説明し、グラフを描く練習をさせておく。



## 事例 1 2 2

育成したい  
ICT活用スキル

【ウェブ会議システム】【ICTの理解】

特別支援学校 高等部 1~3年 タブレットを用いた学習支援

【教科等】職業（作業学習） 【題材】分校を地域に売り込もう！




### 本時の目標

- ・自己紹介や作業製品の紹介を地域の飲食店店主に自分の言葉で伝える。
- ・自ら適切な役割を見いだすとともに、役割や責任を果たそうとする気持ちを育む。

### ICTを活用するねらい

- ・Zoomを使用して飲食店の方とコミュニケーションを取る場面を設定することで、地域の方とのつながりを意識できるようにする。

### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶練習を行う。</li> <li>・本時の学習内容を知る。</li> </ul>	Microsoft PowerPoint 電子黒板	
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域の飲食店と交流をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・Zoomを使用し、交流する。</li> <li>・自己紹介をする</li> <li>・店主より店の紹介を聞く。</li> <li>・作業製品や自分が担当して制作している製品の紹介をする。</li> <li>・作業製品の中から必要な物を発注してもらう。</li> </ul> </li> <li>2 作業工程の分担を話し合っ て決める。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業工程図を見ながら話し 合いを行う。</li> </ul> </li> </ol>	Microsoft PowerPoint Zoom VOCA（音声出力型 コミュニケーション 機器） 電子黒板	<p>[電子黒板に写して内容等を確認]</p>  <p>[Zoomで飲食店の方との交流]</p>  <p>[Zoom上の画面]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートに交流を通して感じたことや、これからの作業学習の目標を書く。</li> </ul>	Microsoft PowerPoint 電子黒板	

### 児童生徒の変容等

- ・Zoomを使用することで、互いの表情が分かり、楽しい雰囲気的交流となった。
- ・普段、生徒たちは地域の方とのつながりを感じる機会が少なかったが、発注を受け、作業製品を納品するという意識を持つことで、「地域のために」という気持ちや責任感を持って作業学習に取り組むようになった。
- ・地域の人から掛けられる一つ一つの言葉を、生徒たちは真剣に聞き、強く受け止めていた。

### 活用の留意点

- ・誰が答えたらいいか分かりにくい場面では、支援に入る教師が間に入るようにし、円滑な会話が流れるようにしていく。
- ・自分でタブレットの操作ができる生徒には、事前にZoom等の操作方法を伝え、複数台のタブレットを活用して交流すると、互いの表情がより明確に分かり、交流の充実につながる。

事例 1 2 3

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【考えの表現】

特別支援学校 小学部 3年 メモアプリを使用した絵描き歌遊び  
【教科等】国語（生活単元学習） 【単元】絵描き歌をしよう


本時の目標

- ・絵描き歌を楽しむ。
- ・絵の描き方、描くことの面白さを知る。

ICTを活用するねらい

- ・絵描き歌の動画に注目し、絵の描き方を知る。
- ・筆圧の弱い児童が、タブレットを使用することで自信を持って描くことにつながる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教師がテレビに絵描き歌動画を流しながら、タブレットのメモアプリで絵描き歌を実践する。</li> </ul>	メモアプリ テレビ	 <p>[描いた絵をテレビに映して鑑賞]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 絵描き歌で絵を描く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「やってみたい人。」の問い掛けで、挙手をした児童から順番に実践する。</li> <li>・「カメ」「ワニ」のイラストから、好きな方を選び、絵描き歌をする。</li> </ul> </li> <li>2 作品を鑑賞する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・描いた絵をエアドロップで教師用タブレットに共有し、テレビに映して、皆で作品を鑑賞する。</li> </ul> </li> </ol>	メモアプリ テレビ	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員の作品を再度鑑賞し、振り返る。</li> <li>・次回書いてみたいキャラクターや動物のリクエストを発表する。</li> </ul>	テレビ	

児童生徒の変容等

- ・タブレットで描いた絵がテレビに映ることを喜び、次に描きたい絵をどんどんリクエストするようになった。
- ・描くことが上達し、家庭でも積極的に絵を描くようになった児童がいる。
- ・筆圧が弱く、鉛筆やペンで紙に描くことが難しかった児童も、タブレットでは太い線が描けるので、自ら「やってみたい」と意欲を見せるようになった。

活用の留意点

- ・描いた作品をエアドロップで共有し、テレビの大画面で見せることで、自分の作品だけでなく、友達の作品にも注目しやすいようにする。
- ・画用紙等に比べて画面が小さいため、大きく描こうとする児童には、枠内に描けるように言葉掛け等をする必要がある。

事例 1 2 4

育成したい  
ICT活用スキル

【ICTの理解】【考えの表現】

特別支援学校 小学部 4年 タブレットを用いた描画活動

【教科等】 図画工作（生活単元学習） 【単元】 写真にお絵描きをしよう



本時の目標

- ・秋を感じるものや自分が気になるものを見付ける。
- ・自分で写真を撮りながら散歩することで、周りのものに意識を向ける。

ICTを活用するねらい

- ・タブレットやロイロノートスクールでできることを知る。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れを確認する。</li> </ul>		 <p>[タブレットで写真撮影]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 秋を感じるもの等を見つけ、写真に撮る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校敷地内を散歩しながら、ロイロノートのカメラ機能を使い、秋を感じるものや気になるものを撮影する。</li> </ul> </li> <li>2 写真にお絵描きする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室に戻り、ロイロノートの手描き機能で写真に描き込みをする。</li> </ul> </li> </ol>	ロイロノート	 <p>[タブレットで写真に描き込む]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・描き込みをした写真を提出箱に提出し、電子黒板に表示される友達や自分の作品を鑑賞する。</li> </ul>	ロイロノート 電子黒板	

児童生徒の変容等

- ・写真の取り込み方やペンの色の替え方などを教師が目の前で実際に操作しながら説明することで興味を示し、手順を覚え自分で色の変更などの操作をしながら絵を描いた児童もいた。

活用の留意点

- ・写真を撮りたい意思を明確に表現できない児童もいるため、児童の様子を注意深く見ながら、写真を撮るよう促す必要がある。
- ・タブレットの操作に常時支援が必要な児童もいるため、事前にT・Tの教員と役割分担を決めておく。

事例 1 2 5

育成したい  
ICT活用スキル

【ICTの理解】【文字入力】



特別支援学校 小学部 4年 タブレットと電子黒板を使った得点表示と振り返り  
【教科等】体育科 【単元】ねらってキック！

本時の目標

- ・シュートゲームを通して、友達と競い合いながら技能を高めていく楽しさを味わう。
- ・自分の得点やチームの合計点を、プログラミングで表示される画面で確認することで、ゲームの状況理解を深める。
- ・自分や友達の動きを視覚的に振り返る。

ICTを活用するねらい

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	・ドリブルとシュートの練習をする。		
展開	1 シュートゲームをする。 ・獲得した点の数だけキーを押し、ボールのイラストを表示する。 2 シュートゲームの様子を撮影する。	スクラッチプログラミング 電子黒板 タブレットのカメラ機能	 [プログラミングを使った表示]
まとめ	・ゲームをしている様子を撮影した動画を見て、活動を振り返る。	電子黒板	 [画面を見ながらの振り返り]

児童生徒の変容等

- ・自分でパソコンのキーを押し、得点が画面上に表示されることで、点数を競い合うことを楽しむ児童が増えた。
- ・動画による振り返りを行う中で、友達の動きにも興味をもち、拍手で称賛したりよかった点を伝えたりするようになった。

活用の留意点

- ・児童が自分の押すキーが視覚的に分かるように、各チームのビブスの色と同じ色で印を付けておく。
- ・児童が指定されたキーを確実に押せるように、児童の実態に応じて使用するキー以外にはカバーをする。



事例 126

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】

特別支援学校 小学部 4年 タブレットのカメラ機能を使った作品づくり活動  
【教科等】 図画工作（生活単元学習） 【単元】 写真を撮ろう




本時の目標

・児童が互いに撮影し合い、タブレットで作品を制作する。

ICTを活用するねらい

・ペアで撮影することにより、児童が相互に関わろうとする。  
・タブレットで画像を編集したり、作品を鑑賞したりすることにより、関心を高める。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・互いに写真を撮り合うペアを作る。</li> </ul>		 <p>[個別に端末で画像編集]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ペアで撮り合い、その画像を編集アプリで編集する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなスタンプを使って、画像を編集する。</li> </ul> </li> <li>2 影絵をペアで撮り合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室を暗くし、スクリーンに映った影を撮影し合う。</li> </ul> </li> </ol>	タブレットのカメラ機能 InShot（動画編集・加工アプリ）	 <p>[編集した作品]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を発表し、今日の活動を振り返る。</li> </ul>	大型モニタ	 <p>[スクリーンに映る影絵の作品]</p>

児童生徒の変容等

- ・撮影する際に、相手に合図を出してからシャッターを切ることが増えた。
- ・撮影直後に画像を確認することで、自分の動きを客観的に見ることができていた。
- ・関心を持って活動に取りくむことにより、友達の作品を落ち着いて鑑賞できていた。

活用の留意点

- ・InShotのような無料アプリを使用する場合、広告動画があるため取り扱いに気を付ける。
- ・InShotで児童が使用する可能性の高いスタンプは、事前にダウンロードしておく。

事例 1 2 7

育成したい  
ICT活用スキル

【プレゼンテーション技術】【文字入力】

特別支援学校 小学部 4年 タブレットを用いた表現活動

【教科等】国語 【単元】ともだちかるたをつくろう




本時の目標

・友達の良いところを考え、かるたの絵札と読み札を作る。

ICTを活用するねらい

・タブレットの操作や、写真を撮ったり文字を入力したりすることに慣れる。  
・作ったかるたを共有し、発表したり友達の発表を見たりする。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	・本時の活動内容を知る。	電子黒板	 [操作の仕方の説明]
展開	1 かるたを作る友達を決める。 2 友達の良いところを考える。 3 かるたの絵札と読み札を作る。 ・タブレットのカメラ機能で、絵札用の写真を友達と交互に撮影する。 ・考えた「友達の良いところ」を入力し、読み札を作る。	Google スライド タブレットのカメラ機能	 [絵札用の写真撮影]
まとめ	・作ったかるたを発表する。 ・読み札の文を読み、録音をする。	Google スライド ボイスメモ	 [文字の入力]

児童生徒の変容等

・教師の説明を聞きながらタブレットを操作し、写真の挿入や移動、サイズ変更を行ったり、文字入力をしたりした。  
・操作の仕方を覚え、2つ目の札作りでは、操作の仕方を思い出しながら自分で操作できる児童が多かった。

活用の留意点

・Googleスライドを授業で初めて使用する際には、写真と文字入力のための簡単な操作に限定し、色分けするなど視覚的に分かりやすい様式にする。

事例 128

育成したい  
ICT活用スキル

【プログラミング的思考】

特別支援学校 小学部4年 タブレットを活用したプログラミング学習  
【教科等】算数（生活単元学習） 【単元】ゴールをめざそう




本時の目標

- ・「左」「前」「右」を弁別して、目的の方向にロボットを動かす。
- ・スタート地点からゴール地点までの進んだ歩数を数える。

ICTを活用するねらい

- ・入力したプログラムで画面上のロボットが自動的に動くことで、即時的に自己評価でき、達成感を味わいながら学習意欲を向上させる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[ワークシートで動かし方の確認]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ロボットの動かし方を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・升目のあるワークシートを用いてスタート地点とゴール地点を確認する。</li> <li>・ワークシートに書き込む。</li> <li>・難しい場合は実際に歩いてみる。</li> <li>・進んだ歩数を数える。</li> </ul> </li> <li>2 アプリで方向キーをコマンドエリアにドラッグしてロボットを動かす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・間違っていたときはワークシートを修正する。</li> </ul> </li> </ol>	こどもプログラミング	 <p>[実際に歩いて考える活動]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標の振り返りをする。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[タブレットに入力]</p>

児童生徒の変容等

- ・活動を繰り返す中で、左右の弁別能力が向上した。
- ・自分視点ではなく、ロボットの視点に立って「左」「前」「右」を入力することに気付き、ゴールへ向かうための方向をじっくり考える姿が見られた。
- ・アプリの操作に慣れ、休み時間にも積極的に難しい問題に挑戦するようになった。

活用の留意点

- ・アプリの操作方法を、事前に手本として示す。
- ・ワークシートを併用することで、どこで間違えたかなど、自己評価がしやすくなる。

事例 129

育成したい  
ICT活用スキル

【ICTの理解】【デバイスの活用】

特別支援学校 小学部4～6年 タブレットを用いた学習  
【教科等】生活（生活単元学習） 【単元】野菜を育てよう



本時の目標

- ・これから育てる野菜や種苗の特徴を知る。

ICTを活用するねらい

- ・クイズを楽しみながら野菜や種苗の特徴を知る。
- ・発語の有無に関わらず児童が意思を表示できる機会を作る。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の流れを確認する。</li> </ul>		 <p>[タブレット上の正解だと思う野菜の写真をタッチする]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 冬の野菜を知る。</li> <li>2 野菜クイズをする。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段食べている野菜の写真と種苗の写真を見て、何の野菜の種苗か考え、2択クイズに答える。</li> </ul>	Microsoft PowerPoint テレビ	 <p>[テレビ画面で答えを確認する]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が育てたい野菜を決める。</li> <li>・苗植え、種まきの日を確認する。</li> </ul>	Microsoft PowerPoint テレビ	

児童生徒の変容等

- ・普段の授業では、みんなの前で発言することに消極的な児童が、タブレットによるクイズに興味をもち、積極的に手を挙げてクイズに答えるなど、意欲的に学習に取り組んだ。

活用の留意点

- ・押したつもりがないところで答えが出たり、○×両方が表示されるまで触り続ける児童がいたりするため、リンク機能により、タッチする画面と別の画面に○×が表示されるよう設定する。
- ・爪で押したり、力が弱かったりすると反応しにくいいため、指を持って向きを変えるなど、押し方を支援する必要がある。



事例 130

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】

特別支援学校 中学部 1年 アプリを活用した司会進行の支援  
【教科等】国語（日常生活の指導） 【単元】日直の司会をしよう


本時の目標

・見通しをもった行動ができるよう、本日の行事や時間割を確認する。

ICTを活用するねらい

・発語のない生徒が、音声代替機能のあるアプリを使って日直の司会を行う。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	・ドロップトーク「朝の会」のキャンパスで流れを確認する。	DropTalk	 <p>[DropTalkのアイコンをタップしている様子]</p>
展開	1 アイコンをタップして司会進行する。 ・「あいさつ」をタップし、学級委員に号令をお願いする。 ・「健康観察」をタップし、保健係に健康観察をお願いする。 ・「こんだて」をタップし、給食係に献立発表をお願いする。 2 一日の予定を確認する。 ・「今日の予定」をタップする。 ・差し棒を使って、教師と一緒に一日の流れを確認する。	DropTalk	
まとめ	・「先生の話」をタップし、先生にお話をお願いする。	DropTalk	

児童生徒の変容等

・アプリを使い始めた頃は、アイコンの種類、順番、タイミングなどがつかめず、また、画面をタップする際に爪が当たり反応しないこともあったが、継続して取り組むことで、指の腹でタップする技能を取得し、タップする順番等も覚え、教師の支援をほとんど受けずに、一人で日直の司会ができるようになった。

活用の留意点

・左上から下へ順番に押していくなど、アイコンを押すルールを統一し、生徒が朝の会以外の様々な場面で司会進行役ができるようにする。

事例 131

育成したい  
ICT活用スキル

【情報検索】【プレゼンテーション技術】

特別支援学校 中学部 1年 タブレットを用いた調べ学習  
【教科等】総合的な学習の時間 【単元】身近な仕事について知ろう



本時の目標

- ・ 家族の仕事を調べてスライドにまとめ、発表する。

ICTを活用するねらい

- ・ スライドに情報をまとめ、発表する過程でどうすれば自分の伝えたいことが相手に伝わるかを考える。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・ スライド作成のポイントを聞く。</li> </ul>	Google スライド テレビ	 <p>[個別に端末で発表の準備]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 家族の仕事について調べて、スライドにまとめる。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ インターネットで調べる。</li> <li>・ スライドに必要な情報を文字入力したり、参考になる画像を貼り付けたりする。</li> <li>・ 文字の大きさなどを調整し、スライドを見やすくする。</li> </ul> </li> <li>2 Google スライドを使って発表を行う。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 話す速さなど発表のポイントを確認する。</li> <li>・ 発表が終わるごとに聞き手は発表者に質問したり、感想を述べたりする。</li> </ul> </li> </ol>	Classroom Google ドライブ・スライド Safari テレビ	 <p>[Google スライドを使って発表]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表の仕方について良かった点や改善点を振り返る。</li> <li>・ 次回の調べ学習の課題を伝える。</li> </ul>	Google スライド テレビ	

児童生徒の変容等

- ・ スライド作成時は、文字を大きくして見やすくしたり、文章だけではなく画像を引用したりするなど、相手にどうやったら自分の伝えたいことが伝わるか考えながら活動に取り組んだ。
- ・ 情報検索にも慣れ、簡潔にキーワードを入力し、効率よく自分の知りたい情報を得る様子が見られた。

活用の留意点

- ・ スライド作成や発表のポイントを説明する際は、実際に良い例、悪い例を示し、どちらが分かりやすいか生徒が考える場面を設ける。
- ・ 調べたことがメモできるようにワークシートを準備しておく。

事例 1 3 2

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】

特別支援学校 中学部 1、2年 タブレットを用いた模擬販売活動練習  
【教科等】生活単元学習・作業学習 【単元】模擬販売練習をしよう




本時の目標

- ・接客の手順や大切な点を知る。
- ・アプリの基本的な操作方法に慣れ、正確に金銭のやり取りを行う。

ICTを活用するねらい

- ・商品や金種の確認を視覚的に示すアプリを活用することで、会計が正確かつスムーズに行え、接客時の生徒の自信につながる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・自分自身が買い物をする際の店員の様子について考える。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[接客に向けた挨拶練習]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 接客に向けた、基本的な挨拶の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・スライドで表情や礼の角度について確認する。</li> <li>・挨拶の様子を録画し、接客の様子を振り返る。</li> </ul> </li> <li>2 アプリの操作方法を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・商品の種類を確認し、入力する。</li> <li>・客からもらった金種を確認しながら釣銭をアプリで確認する。</li> </ul> </li> <li>3 実践練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・客役の教師に対して、挨拶等の対応をしながら、会計を行う。</li> <li>・タブレットの操作技術よりも大切なのは「お客様をおもてなしする」気持ちであることを確認する。</li> </ul> </li> </ol>	ロイロノート タブレットのカメラ機能 レジスタディ（買い物学習アプリ）	 <p>[レジスタディの使い方の確認]</p>  <p>[客役の教師との対応練習]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標の振り返りを行う。</li> <li>・写真や動画を見て、自分が頑張ったことを発表する。</li> </ul>	電子黒板	

児童生徒の変容等

- ・生徒が買い物に行った際の経験を共有することで、接客のイメージがもてた。
- ・アプリを活用することで、商品を写真から選んだり、金種を一つずつ確認し、間違えずに金銭のやり取りを行ったりしたことが生徒たちの自信につながり、適切な声で挨拶をしたり、商品を勧めたりするなどの意欲の向上につながった。

活用の留意点

- ・アプリの操作に慣れるまでは、教師が横について、手順を一つずつ確認する。
- ・生徒が目標を意識して活動している場面を動画や写真で保存しておく。



### 事例 133

育成したい  
ICT活用スキル

【ウェブ会議システム】【考えの表現】

## 特別支援学校 中学部2年 タブレットを活用した話し合い活動 【教科等】理科（生活単元学習） 【単元】空気の流れを知ろう



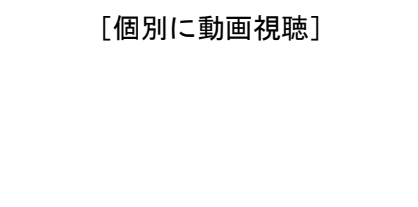
#### 本時の目標

・涼しく過ごしたり、効率の良い換気をしたりするために空気の流れを知る。

#### ICTを活用するねらい

・拡大表示等の機能を活用しながらタブレットで個別に動画視聴を行うことで、授業内容に関して興味・関心・意欲を高める。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	・本時の目標と流れを確認する。	Google Classroom	
展開	1 NHK for Schoolの動画を視聴し、空気の流れについて知る。 ・各自がタブレットで視聴する。 2 効率よく換気できる方法を考える。 ・教室の窓をどう開けたらいいか、各自がタブレットで調べたことを話し合いながら考える。	NHK for School Google Classroom	
まとめ	・感想発表をする。 ・発語が難しい生徒はドロップトークを用いて発表する。	DropTalk	

#### 児童生徒の変容等

・視力が弱い生徒がタブレットを活用して、写真などを自分が見やすい大きさに拡大できるようになり、注目しやすくなったことで、授業への集中力が向上した。

#### 活用の留意点

・教師のパソコン画面を画面共有するために、事前にGoogle Classroomの準備をしておく。  
・換気について調べるときに、アクセス制限がかかることがあるため、検索ワードを前もって提示する。



### 事例 134

育成したい  
ICT活用スキル

【ICTの理解】【マルチメディア】

特別支援学校 中学部 1～3年 タブレットを用いた動きの確認と良さの発見  
【教科等】保健体育 【単元】体づくり運動「いろいろな動きをしよう」



#### 本時の目標

- ・ 友達の良かった点を見付けたり、伝えたりする。

#### ICTを活用するねらい

- ・ 動画を見て自分や友達の動きを確認し、良さを見付ける。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前時の活動の確認をする。</li> <li>・ 本時の目標と流れを確認する。</li> </ul>		 <p>[タブレットでの撮影の準備]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 サーキット運動をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の班の活動を撮影する。</li> </ul> </li> <li>2 自分や友達の動きの確認し、友達の良かった点を見付ける。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班ごとに、タブレットで撮影した動画を見る。</li> <li>・ 巻き戻しや一時停止機能を利用しながら確認する。</li> </ul> </li> </ol>	タブレットのカメラ機能	 <p>[タブレットを中心に動きの確認]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 班ごとに、一番動きの良かった友達を選ぶ。</li> <li>・ 班のリーダーが、良かった点を発表する。</li> </ul>		

#### 児童生徒の変容等

- ・ 画面を見て、友達の良いと思う動きを見付け、積極的に班の友達に伝え合うようになった。
- ・ タブレットの活用に慣れ、準備から撮影まで生徒が行うようになった。
- ・ 撮影した動画を繰り返し見たり、一時停止をしたりして確認することに慣れてきた。

#### 活用の留意点

- ・ タブレットを設置する場所を工夫させたり、三脚を利用させたりして、各班が適切に撮影できるようにする。
- ・ タブレット用の三脚を使用し、生徒の目の高さで動画を視聴させる。

事例 135

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【ウェブ会議システム】

特別支援学校 高等部 2年 ウェブ会議システムを用いた活動  
【教科等】情報（生活単元学習） 【単元】Zoom で朝の会をしよう


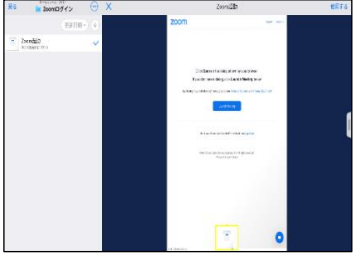

本時の目標

・遠隔による授業や活動をスムーズに行うために、ウェブ会議システムの使用方法を知る。

ICTを活用するねらい

・タブレットを活用することで、手順表を適宜確認しながら作業を行うことができる。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・ウェブ会議システムとはどのようなものか理解する。</li> </ul>		 <p>朝の会</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 資料箱を選択する</li> <li>2. 授業内共有を選択する</li> <li>3. Zoom「朝の会」を選択する</li> <li>4. Zoom起動を選択する</li> <li>5. 画面右上の使用するを選択する</li> <li>6. 出た資料を選択し、その画面を2回タップする</li> <li>7. 開くを選択する</li> <li>8. 画面中央の「Launch Meeting」を選択する</li> </ol>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 Zoomにログインする練習 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Zoomを開いて、ログインする。</li> </ul> </li> <li>2 ロイロノートに添付されたURLからZoomにアクセスする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラスのロイロノートに操作手順表とZoomのURLを添付する。</li> </ul> </li> <li>3 Zoomによる「朝の会」の練習をする。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音声と映像の確認</li> <li>・ 配布資料を使用し、健康観察を行う。</li> </ul> </li> </ol>	Zoom  ロイロノート	<p>[操作手順表]</p>  <p>[ZoomのURL]</p>  <p>[健康観察の配布資料]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 操作手順の確認と振り返りをする。</li> </ul>		

生徒の変容等

- ・ Zoomの操作方法を学び、実際に自分で操作したことでICTの可能性を実感し、「もっとICT機器を活用したい」という感想が多くの生徒から聞かれた。
- ・ 各自が操作手順表を確認しながら作業を進めることで、分からない箇所があっても、自分で何度も確認するようになった。

活用の留意点

- ・ 知的障がいのある生徒が、理解しやすい手順表とするため、簡潔な構成とし、ポイントとなる箇所はフォントや配色を変更して着目しやすいようにする。

事例 136

育成したい  
ICT活用スキル

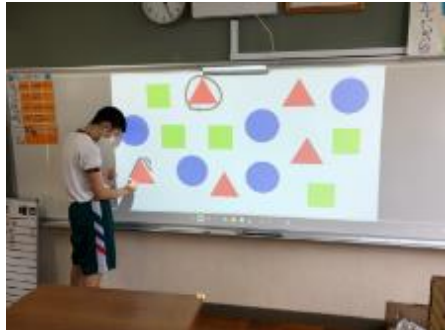
【アプリ活用】  
【教育用クラウドサービスの利用】

特別支援学校 高等部 2年 ICTを活用した数学  
【教科等】 数学 【単元】 いろいろな図形

本時の目標 ・ 図形の違いについて学ぶ。

ICTを活用するねらい ・ 電子黒板やタブレットを活用して、友達とのやり取りをスムーズに行う。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の目標を確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[同じ図形を探している様子]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>同じ図形を探す。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>電子黒板に問題を投影する。</li> <li>複数提示された図形の中から同じ図形を探す。</li> </ul> </li> <li>形の特徴について考える。                             <ul style="list-style-type: none"> <li>簡単な図形をロイロノート上のテキストに書き込む。</li> <li>共有機能を使い、他生徒の図形と見比べながら、図形の特徴について考える。</li> </ul> </li> </ol>	Microsoft PowerPoint 電子黒板	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を振り返る。</li> </ul>	電子黒板	

児童生徒の変容等

- ・ プリントではなく、大きな電子黒板を活用して問題を解いたため、意欲的に学習に取り組んだ。
- ・ ロイロノートで共有しながら発表を行ったため、視覚的に理解がしやすくなり、落ち着いて授業に取り組めたり、集中して他の生徒の意見に耳を傾けることができたりした。

活用の留意点

- ・ PowerPointで問題を作成しているため、問題の更新がその場でできる。生徒の理解度に合わせて問題をリアルタイムで更新していくと、生徒の学習意欲が高まりやすくなる。
- ・ タブレットの使用に支援が必要な生徒がいるため、T・Tの教員との協力が必要である。

## 事例 137

育成したい  
ICT活用スキル

【考えの表現】【アプリ活用】

### 特別支援学校 高等部2年 協働的な話し合い活動に発展させるための 学習支援アプリの利用

【教科等】保健体育 【単元】「誰もが楽しく参加できる」ニュースポーツを作ろう




#### 本時の目標

- ・考えたルールや参加方法の特徴、競技の魅力を友達に分かりやすく伝える。
- ・友達の発表を聞いて、新たに気付いた点や自分の思いを伝え合う。

#### ICTを活用するねらい

- ・タブレットに書いた意見や感想を共有しながら発表し合うことにより、アイデアを発展させて考える。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の目標と流れを確認する。</li> <li>・前時までの振り返りをする。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[画面を見ながらの振り返り]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 調べたことを発表したり聞いたりする。</li> <li>2 班ごとに、調べたことを発表する。</li> <li>3 他の班の発表を聞く。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各班の発表が終わる度に、タブレットに配布されたシートに、発表に対する感想や質問を記入し、提出する。</li> </ul> </li> </ol>	ロイロノート 電子黒板	 <p>[電子黒板を中心に発表]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感想や質問を基に、改善点を考えたり、良かった点を評価したりする。</li> </ul>	ロイロノート	 <p>[タブレットを中心に話し合い活動を実施]</p>

#### 児童生徒の変容等

- ・自分の気持ちを伝えることが苦手な生徒が、集団の中でも自信をもって、自分の気持ちを表現できるようになってきた。
- ・ICTを活用することで、他者からの評価に対して質問したり、内容の確認をしたりする姿が多く見られ、話し合いを通してアイデアを深めることができた。

#### 活用の留意点

- ・言葉での表現が難しい生徒が評価できるよう、記述による評価だけでなく、「話すスピード」など数値の記入により評価ができる項目も作成する。



# 事例 138

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【考えの表現】

## 特別支援学校 高等部3年 タブレットを用いた話し合い活動 【教科等】 ホームルーム活動 【主題】 自分を理解して今後の生活を考えよう




### 本時の目標

- ・自分自身について理解を深める。
- ・今後の生活で周囲の人にどのように自分を理解してもらおうか考える。

### ICTを活用するねらい

- ・ロイロノートを利用してノートをとる。
- ・ロイロノートの提出箱に提出して、みんなの意見を回覧する。

### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のことを知るために、自分の性格を一言で書き表し、提出箱に提出する。</li> </ul>	ロイロノート 電子黒板	 <p>[自分の性格を一言で記入]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 提出箱を利用して全員の意見を共有する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面を見ながら発表する。</li> <li>・発表の音声情報だけでは理解が難しい生徒は、画面の文字情報を確認する。</li> </ul> </li> <li>2 自分の印象について友達から聞き取る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分は友達からどう思われているか聞き取る。</li> <li>・ロイロノートにまとめ、提出箱に提出する。</li> </ul> </li> </ol>	ロイロノート 電子黒板	 <p>[全員の意見を共有する]</p>  <p>[端末を利用しながらの話し合い]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が知っている自分と、友達からみた自分を比較しながら、今後の生活で周囲の人にどのように自分を理解してもらおうか考える。</li> </ul>	ロイロノート 電子黒板	

### 生徒の変容等

- ・集中力の持続に課題がある生徒が、タブレットでノートを取ることに興味を示し、最後まで作業を行うことができた。
- ・タブレットで確認しながら話し合ったことで、話合う内容を忘れることもなく、時間いっぱい活動することができた。

### 活用の留意点

- ・プリントに書く時間とタブレットに入力する時間を明確に分けて、生徒の集中力が持続するようにする。
- ・タブレットによる作業スピードに個人差があるため、早く作業が終わった生徒は、周りの補助をすることをルール化する。

事例 139

育成したい  
ICT活用スキル

【ウェブ会議システム】  
【教育用クラウドサービスの活用】

特別支援学校 高等部3年 Google サービスを利用した活動  
【教科等】家庭 【単元】カフェを開こう




本時の目標

- ・自作のカフェエプロンの写真を掲載したカフェのチラシを作る。
- ・自分のチラシについて発表する。

ICTを活用  
するねらい

- ・Google Meetを活用して学級別に各教室で作業を行う。
- ・タブレットで撮影した写真やインターネットで検索したイラストや写真等を使い、Googleドキュメントでチラシを作成する。

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	・本時の目標と活動内容を確認する。	Google Meet	 [本時の活動内容の確認]
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 自分のカフェの名前とコンセプトを考える。</li> <li>2 カフェエプロンを着けた写真を撮る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・場所やポーズを決め、カメラ機能で友達に撮影してもらう。</li> </ul> </li> <li>3 チラシに記載する項目を入力しチラシを作成する。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の写真を貼る。</li> <li>・インターネットで使いたい画像を調べる。</li> </ul> </li> <li>4 完成したチラシを提出する。</li> <li>5 自分のチラシのコンセプトを発表する。</li> </ol>	Google ドキュメント タブレットのカメラ機能 電子黒板	 [完成したチラシ]   [チラシのコンセプト発表]
まとめ	・端末に配布された振り返りシートに感想を記入し、次時の活動アンケートに回答する。	Google フォーム	

児童生徒の変容等

- ・タブレットの画面越しにお互いの表情もしっかり見え、挙手での発言が少ない生徒も、チャット機能を利用して意見を書き込み共有できた。
- ・ドキュメントを使用することで、手書きに対して苦手意識を持つ生徒も、チラシの作成に意欲的に取り組めた。
- ・電子黒板や画面共有を使って発表することで、他者の発表に対する集中力も高まった。

活用の留意点

- ・事前に教師が作った見本のチラシを提示し、Googleドキュメントでの制作イメージを持ちやすいようにする。
- ・次時の活動内容についてのアンケートをGoogleフォームで作成し、生徒に配布しておくことで、活動の見通しを持たせる。

## 事例 140

育成したい  
ICT活用スキル

【ICTの理解】【情報モラル】

### 特別支援学校 高等部3年 Forms を活用した「情報モラル」に関する学習 【教科等】 ホームルーム活動 【主題】 情報モラルについて考える

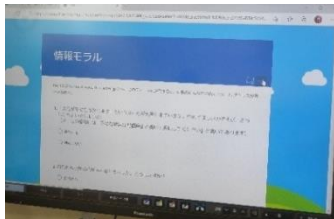


#### 本時の目標

- ・ ICTを活用する上での情報モラルの重要性について知る。
- ・ インターネットの危険性を知り、考えて使う習慣を身に付ける。

#### ICTを活用するねらい

- ・ タブレットを用いることで、意思表示を容易に行う。
- ・ 電子黒板を用いることで、相互の意見共有を図る。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動目標と活動内容を確認する。</li> <li>・ 情報モラルの必要性について、指導者の話を聞いて確認する。</li> </ul>	電子黒板	 <p>[電子黒板を活用しての説明]</p>
展開	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 タブレットを用いて、Forms の設問の回答を考え入力する。</li> <li>2 電子黒板に表された、他の生徒の回答を共有し、情報モラルに対する考えを深める。</li> </ol>	Microsoft Forms 電子黒板	 <p>[個別に Forms の設問に回答]</p>  <p>[振り返りシートの記入]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 端末に配付された振り返りシートに、感想や分かったことを記入する。</li> </ul>	Microsoft Teams	

#### 児童生徒の変容等

- ・ タブレットの使用に慣れている生徒が多く、設問に回答する活動に意欲的に取り組んでいる生徒が多かった。
- ・ 各生徒の意見や考えを即座にフィードバックすることができるため、生徒たちが積極的に考えようとする姿勢が見られた。

#### 活用の留意点

- ・ 使用するアプリについて事前学習を行い、生徒がスムーズに活用できるように、実践を通して指導する。
- ・ 生徒の考える意欲を高めることができる設問を工夫する。

事例 1 4 1

育成したい  
ICT活用スキル

【情報検索】【アプリ活用】




特別支援学校 高等部1～3年 自分に必要なトレーニングを調べて実践する  
【教科等】保健体育 【単元】体づくり運動

本時の目標

- ・トレーニングの方法や意義を理解する。
- ・自分に必要なトレーニングを選び、目的意識を持って活動する。
- ・事前に自分に合ったトレーニング内容や方法を調べてタブレットに保存しておき、実際のトレーニング場面で確認しながら正しく取り組むことができる。
- ・撮影した動画を活用して振り返りを行い、改善点を理解する。

ICTを活用するねらい

▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子(写真)・参考資料等
導入	・トレーニングを選び、自分のメニューを作る。	タブレットの画像、動画再生機能	
展開	1 2人組を作る。 2 トレーニングを行う。 ・トレーニング(3分)、休憩(2分)を1セットとし、5セット行う。 ・ペアがトレーニングしている様子をタブレットで撮影する。	タブレットの画像、動画再生機能	[生徒同士でトレーニングの様子を撮影し合う場面]  
まとめ	・本時の振り返りと次時の内容を知る。	タブレットの画像、動画再生機能	[撮影した写真画像や動画を見て本時の振り返りを実施]  

児童生徒の変容等

- ・トレーニングの内容をタブレットで確認しながら実施することで、正しい方法を理解して取り組む生徒が増えた。
- ・教員が生徒のトレーニング風景を撮影した動画を示しながら、具体的なポイントや改善点を伝えたことで生徒の理解が深まり、互いに評価しながら生徒同士で撮影し合う様子が見られた。

活用の留意点

- ・振り返りを記入する際、実態に応じて本時のトレーニングの様子映像を確認しながら記入するようにする。
- ・画像でトレーニングの様子を振り返る際、注意するポイントを描き加え、生徒の理解を促すようにする。



## 事例 1 4 2

育成したい  
ICT活用スキル

【アプリ活用】【ウェブ会議システム】

### 特別支援学校 高等部（訪問教育） 1年 協力学級とのオンライン交流 【教科等】美術（生活単元学習） 【単元】クリスマス会をしよう


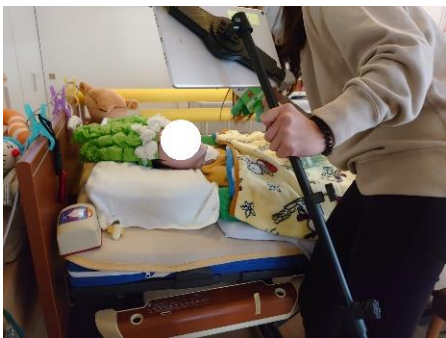
#### 本時の目標

・ 同年代の友達と交流することで、楽しい雰囲気味わう。

#### ICTを活用するねらい

・ オンラインでの交流により、表情の変化や自発的な動きにつながる友達や教師からの働きかけを得る。

#### ▼本時の流れ▼

	主な学習活動	活用する機器・アプリ	授業の様子（写真）・参考資料等
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動内容や目標を確認する。</li> <li>・ 協力学級の生徒からの動画メッセージを視聴する。</li> </ul>	Google Classroom	 <p>[ファッションショーの視聴]</p>
展開	協力学級とのオンライン交流 1 ハロウィンで制作した野菜のファッションショーの発表（協力学級） 2 デジタル文化祭鑑賞 3 ゲーム <ul style="list-style-type: none"> <li>・ おもちゃの釣りゲームを行う。</li> </ul>	Google Classroom	 <p>[自分も返信して友達に披露]</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本時の活動を振り返り、感想を発表する。</li> <li>・ 次回の交流について、確認する。</li> </ul>	DropTalk	

#### 児童生徒の変容等

- ・ 友達からの呼び掛けに対して、画面越しに視線を合わせた。発表や動画の視聴では、しっかりと追視をして交流を楽しんでいる様子が見られた。
- ・ 振り返りの場面では、教師の問いかけに唇を少し動かし、「楽しかった」を選択した。

#### 活用の留意点

- ・ 生徒の視線がタブレットに合うように角度を調整したり、お互いの発信がスムーズにいくよう補足しながら言葉掛けを行ったりする。

## ICT活用実践事例 報告学校一覧

### ○小・中学校（24校）

四国中央市立川之江小学校 新居浜市立中萩小学校 西条市立神拝小学校  
西条市立西条北中学校 今治市立乃万小学校 上島町立魚島小学校  
松山市立道後小学校 松山市立内宮中学校 東温市立南吉井小学校  
東温市立重信中学校 伊予市立伊予小学校 伊予市立港南中学校  
松前町立松前小学校 砥部町立砥部中学校 久万高原町立久万小学校  
大洲市立喜多小学校 内子町立内子小学校 八幡浜市立神山小学校  
伊方町立伊方小学校 西予市立宇和中中学校 宇和島市立明倫小学校  
鬼北町立近永小学校 松野町立松野西小学校 愛南町立平城小学校

### ○高等学校・中等教育学校（55校）

川之江高等学校 三島高等学校 土居高等学校 新居浜東高等学校  
新居浜西高等学校 新居浜南高等学校 新居浜工業高等学校 新居浜商業高等学校  
西条高等学校 西条農業高等学校 小松高等学校 東予高等学校  
丹原高等学校 今治西高等学校 今治西高等学校伯方分校 今治南高等学校  
今治北高等学校 今治北高等学校大三島分校 今治工業高等学校 弓削高等学校  
北条高等学校 松山東高等学校 松山南高等学校 松山南高等学校砥部分校  
松山北高等学校 松山北高等学校中島分校 松山中央高等学校 松山工業高等学校  
松山商業高等学校 東温高等学校 上浮穴高等学校 伊予農業高等学校  
伊予高等学校 大洲高等学校 大洲農業高等学校 長浜高等学校  
内子高等学校 内子高等学校小田分校 八幡浜高等学校 八幡浜工業高等学校  
川之石高等学校 三崎高等学校 宇和高等学校 宇和高等学校三瓶分校  
野村高等学校 宇和島東高等学校 宇和島東高等学校津島分校 宇和島水産高等学校  
吉田高等学校 北宇和高等学校 北宇和高等学校三間分校 南宇和高等学校  
今治東中等教育学校 松山西中等教育学校 宇和島南中等教育学校

### ○特別支援学校（10校）

新居浜特別支援学校 新居浜特別支援学校川西分校 新居浜特別支援学校みしま分校  
今治特別支援学校 松山盲学校 松山聾学校 しげのぶ特別支援学校  
みなら特別支援学校 みなら特別支援学校松山城北分校  
宇和特別支援学校（聴覚障がい部門、知的障がい部門、肢体不自由部門）

（学校名は地域順）